

第37回研究運営委員会 議事概要

(注：本会議は個別具体の研究者や研究課題名に言及した議論が行われることから、非公開で行った。

本会議概要についても、それらが特定されない形での公表とする。)

1 日時：平成22年7月29日(木) 16:00~18:30

2 場所：食品安全委員会22階中会議室

3 出席者(8名)五十音順

圓藤 陽子(食品安全委員会化学物質・汚染物質専門調査会専門委員
独立行政法人労働者健康福祉機構関西労災病院
勤労者医療総合センター・産業中毒センター長)

及川 眞一(食品安全委員会新開発食品専門調査会専門委員
日本医科大学内科学内分泌代謝部門教授)

小泉 直子(食品安全委員会委員長)

佐々木珠美(食品安全委員会企画専門調査会専門委員
日本生活協同組合連合会食の安全担当テクニカルアドバイザー)

高鳥 浩介(食品安全委員会かび毒・自然毒等専門調査会専門委員
東京農業大学客員教授)

長尾 拓(食品安全委員会委員)

◎廣瀬 雅雄(食品安全委員会委員)

見上 彪(食品安全委員会委員長代理)

(◎：座長)

4 議題

(1) 事後評価について

(2) 今後の研究事業の方向性について

(3) その他

5 議事

(1) 事後評価について

○ 平成21年度をもって終了した以下の11研究課題について事後評価を行った。

・平成19年度採択8課題

①課題番号「0701」主任研究者：土田成紀(弘前大学)

②課題番号「0702」主任研究者：笹野公伸(東北大学)

③課題番号「0703」主任研究者：出川雅邦(静岡県立大学)

④課題番号「0704」主任研究者：長谷川隆一(国立医薬品食品衛生研究所)

⑤課題番号「0705」主任研究者：小関成樹((独)農業・食品産業技術総合研究
機構食品総合研究所)

⑥課題番号「0706」主任研究者：工藤由起子(国立医薬品食品衛生研究所)

⑦課題番号「0707」主任研究者：青木宙(東京海洋大学)

⑧課題番号「0708」主任研究者：手島玲子(国立医薬品食品衛生研究所)

・平成20年度採択3課題

①課題番号「0802」主任研究者：池田正之((財)京都工場保健会)

②課題番号「0803」主任研究者：佐藤洋(東北大学)

③課題番号「0806」主任研究者：中村政幸（北里大学）

- 各主任研究者より提出された研究成果報告書（参考として研究成果に関連した学術雑誌への投稿論文を含む）に関して、各研究運営委員による書面審査（研究の妥当性、研究目標の達成度、研究成果の有用性の3つの観点）の結果を踏まえ、事後評価案を策定した。策定にあたり3つの観点の中でも、特に「研究成果の有用性」を重視し、今後、食品安全委員会のリスク評価に活用できるか否か、といった点を重視することとされた。

なお、今回の事後評価については、直接研究者より研究成果についてヒアリング審査を要する研究課題はなく、書面審査により評価案を策定することとされた。

- 評価結果は、評点に応じて、「目標の達成は不十分であった」、「目標を達成した」及び「目標以上の成果があった」の三段階で示すこととした。「目標の達成は不十分であった」という表現は、厳しすぎる表現ではないか、との意見もあったが、議論の結果、当初の案で決定した。また、評点を言葉で分類するより、評価点をそのまま記載すべきとの意見もあったが、今後、検討することとされた。

- 従来、事後評価結果の策定に関し、評価・総合コメントのみの記述であったが、新たに評価結果に至った研究成果の優れた点又は留意すべき点などを具体的に「評価所見」として示すこととした。評価所見はできるだけわかりやすい表現を使用することに留意した。

以上の議論を経て、対象11課題について事後評価（案）を決定し、食品安全委員会に報告することとされた。

- 昨年度と同様に、終了した研究課題の成果発表会を開催することとされた。なお、今年度は、昨年度（3課題）より、多い課題（5課題程度）を対象とし、本年秋以降の開催に向けて準備することとされた。

(2) 今後の研究事業の方向性について

- 今年度、本研究事業について実施された財務省予算執行調査の結果等を本委員会に報告するとともに、研究企画等に係る改善の方向性について検討した。

今後、同調査で指摘された事項をふまえ、研究運営委員会構成員の増強の他、推進が必要な研究の大枠の策定を中心に研究運営委員会で検討していくことと了承された。

- 本運営委員会における議論については、研究事業の透明性を確保する観点から、今後、個人情報及び知的財産に配慮しつつ、議事概要を作成・公表することとされた。

(3) その他

- 今年度新規採択課題1課題について、主任研究者交替が了承された。

以上。